

## 1 議事日程

[令和4年太宰府市議会 予算特別委員会]

令和4年2月25日

午前11時30分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第20号 令和4年度太宰府市一般会計予算について  
日程第2 議案第27号 令和4年度太宰府市一般会計補正予算（第1号）について  
日程第3 議案第21号 令和4年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について  
日程第4 議案第22号 令和4年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について  
日程第5 議案第23号 令和4年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について  
日程第6 議案第24号 令和4年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について  
日程第7 議案第25号 令和4年度太宰府市水道事業会計予算について  
日程第8 議案第26号 令和4年度太宰府市下水道事業会計予算について

## 2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	陶山良尚	議員	副委員長	神武綾	議員
委員	タコスキッド	議員	委員	馬場礼子	議員
〃	今泉義文	議員	〃	森田正嗣	議員
〃	宮原伸一	議員	〃	入江寿	議員
〃	木村彰人	議員	〃	徳永洋介	議員
〃	船越隆之	議員	〃	堺剛	議員
〃	笠利毅	議員	〃	原田久美子	議員
〃	小島真由美	議員	〃	長谷川公成	議員
〃	橋本健	議員	〃	門田直樹	議員

## 3 欠席委員は次のとおりである

なし

## 4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（13名）

市長	楠田大蔵	副市長	清水圭輔
教育長	樋田京子	総務部長	山浦剛志
総務部経営 企画担当理事	村田誠英	健康福祉部長	田中縁
都市整備部長	高原清	都市整備部理事 兼総務部理事	山崎謙悟
観光経済部長 兼国際・交流課長	東谷正文	教育部長	藤井泰人
教育部理事	堀浩二	人権政策課長兼 人権センター所長	河野貴之
国保年金課長	山口辰男		

## 5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長	木村幸代志	議事課長	花田善祐
--------	-------	------	------

書 記 井 手 梨 紗 子

開会 午前11時30分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 本会議お疲れさまでございました。

ただいまから予算特別委員会を開会します。

まず初めに、市長からのご挨拶を受けたいと思います。

市長。

○市長（楠田大蔵） お疲れさまです。

予算委員会につきましてご理解をいただきまして、近隣市などの状況から、三役は、基本的には執行部、部長以下に説明を任せまして、必要であれば私どもも出てまいりまして、ご説明をしっかりとさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今議会もどうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、三役の皆さんは退席されて結構でございます。

○市長（楠田大蔵） よろしく申し上げます。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、本日の予算特別委員会は、議案第20号から議案第27号までについて各会計の概要説明とし、委員からの質疑は3月15日、16日に行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第1と日程第2を一括上程

○委員長（陶山良尚委員） それでは、日程第1、議案第20号「令和4年度太宰府市一般会計予算について」及び日程第2、議案第27号「令和4年度太宰府市一般会計補正予算（第1号）について」を議題といたします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（山浦剛志） おはようございます。

議案の説明に入ります前に、令和4年度一般会計予算につきましては、当初予算と併せまして補正予算を同時に提案をさせていただいております。これは、予算編成作業における事務スケジュール上、当初予算に組み込むことができなかったものを補正予算という形で提案させていただくものでございまして、ご了承いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議案の説明に入らせていただきます。

議案第20号「令和4年度太宰府市一般会計予算」につきましては、お手元にお配りしております当初予算説明資料に沿って説明をさせていただきます。

まず、1ページをお開きください。

ここに予算総括表と、下段に平成30年度から5年間の当初予算額の推移をグラフとして載せております。

一番上の一般会計の黄色の網かけの部分ですが、令和4年度の一般会計予算総額は290億

3,684万円となっており、前年度予算と比較いたしますと35億307万円の増額、率でいいますと13.7%の増となっております。

これ以下は特別会計となっておりますので、後ほど各担当部長のほうから説明をさせていただきます。

それでは、歳入、歳出の順番で、前年度比較で増減額の大きなものを中心に説明をさせていただきます。

2ページをお開きください。

市税の内訳につきましては3ページに載せておりますが、新型コロナウイルスの影響が続く中でありますが、本市が行ってきたコロナ対策の効果が一定程度現れてきたこと、景気が持ち直していく見込みであることや、コロナによる特例等の失効もあり、主なものとしたしまして、前年度に比べて個人市民税で1億3,404万3,000円、3.8%の増、法人市民税で1億3,804万9,000円、54.7%の増、固定資産税で2億1,727万3,000円、7.3%の増、歴史と文化の環境税で1,200万円、27.3%の増を見込んでおります。

2ページのほうを改めて説明させていただきます。

まず、1款の市税につきましてですが、市税全体といたしまして総額83億5,574万4,000円を計上しております。前年度と比較いたしますと5億4,964万6,000円、7%の増となっております。そして、この市税の内訳でございますが、先ほど申し上げました3ページのところに載せております。今申し上げました個人市民税で3.8%の増、法人市民税で54.7%の増、固定資産税で7.3%の増、そして歴史と文化の環境税で27.3%の増ということで見込んでおります。

改めまして、2ページに戻っていただきまして、6款になります。法人事業税交付金でございますが、こちらにつきましては令和3年度の決算見込みと令和4年度地方財政計画を基に算定いたしまして、前年度と比較し6,800万円、309.1%の増を見込んでおります。

次に、7款地方消費税交付金でございます。地方消費税交付金につきましては、令和4年度地方財政計画を基に算定しておりまして、前年度と比較し2億3,000万円、17.2%の増を見込んでおります。

次に、10款でございます。地方特例交付金でございますが、コロナによる固定資産税及び都市計画税の軽減措置が失効することなどから、前年度と比較いたしまして2億5,300万円、83%の減を見込んでおります。

次に、11款地方交付税でございます。こちらにつきましても、地方財政計画を勘案いたしまして算定をしております。令和4年度地方財政計画では、地方交付税全体として前年度比3.5%の増とされておりまして、令和3年度の交付基準額を基に算出した結果、地方交付税全体として6億2,300万円の増で見込んでおります。

次に、15款国庫支出金でございますが、新型コロナウイルス対策であるワクチン接種事業や給付金事業、また保育所整備事業や小学校改修など大規模事業が要因となりまして、17億8,798万5,000円、35%の増となっております。

次に、18款寄附金でございます。ふるさと太宰府応援寄附につきまして、返礼品の拡充、寄附金の使途の明確化、広報強化など積極的に取り組みまして、令和3年度決算見込みでは8億円を突破する見込みでありますことから、令和4年度は目標額して10億円を見込んでおります。

次に、22款市債でございますが、前年度から7,950万円、4.1%の増としております。これは、臨時財政対策債につきまして、令和4年度地方財政計画を基に、市税や地方交付税など増減を踏まえ算定をいたしまして8億2,000万円の減とした一方で、小学校施設の改修や環境美化センターの設備更新などの大規模事業を実施することなどが主な要因となっております。

続きまして、4ページをお開きください。

4ページは、ただいま説明申し上げました数字を自主財源、依存財源に分けまして、その内容をお示ししております。

自主財源につきましては、繰入金や諸収入などが減となりましたが、市税や分担金及び負担金、寄附金などが増となっております。前年度から8億4,497万9,000円の増となっております。

また、依存財源につきましては、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金が減となった一方で、法人事業税交付金や地方消費税交付金、また地方交付税や国庫支出金などの増もございまして、前年度から26億5,809万1,000円の増となっております。

次に、歳出の説明をさせていただきます。

5ページをご覧ください。歳出の目的別内訳をこちらのほうに載せております。

総務費につきましては、寄附金の増額に伴うふるさと納税関連経費が2億3,400万円増、令和4年度予定しております参議院議員選挙の実施費用が約4,000万円増となった一方で、令和3年度実施いたしました市長・市議会議員選挙、衆議院議員選挙の費用が1億2,000万円減となりましたことから、1億1,142万2,000円、3.6%の増となっております。

次に、民生費につきましては、待機児童解消に向けた保育園の新設及び増築1園ずつに対する整備交付金や、コロナ支援としての非課税世帯への臨時特別給付金、障がい福祉サービス利用者の増加に伴う介護、訓練等の給付費や障がい児通所支援給付費の増などによりまして、9億3,267万5,000円、8%の増となっております。

次に、衛生費でございます。こちらにつきましては、新型コロナウイルスワクチン接種事業や環境美化センターの設備更新などによりまして、7億9,082万8,000円、42.3%の増となっております。

次に、農林水産業費についてでございます。こちらのほう、ため池の安全対策に係る設計や工事費を見込んでおりまして、この分の増などによりまして8,697万円、77.7%の増となっております。

次に、土木費でございます。国の社会資本整備総合交付金を活用しました関屋・向佐野線や、政庁前から朱雀大路交差点までの道路改良事業などによりまして、3億3,443万5,000円、

23.8%の増となっております。

次に、教育費につきましては、水城小学校の改築や水城西小学校の給食室等の改修など学校施設の改修事業の大幅増や、原因者負担による文化財調査事業費の増などによりまして、14億2,605万円、45.5%の増となっております。

6ページでは、歳出の性質別の内訳を載せております。

一番上が義務的経費でございます。このうち扶助費につきましては、小規模保育園の開設に伴います教育・保育給付費の増や、障がい福祉サービス利用者の増加に伴う介護・訓練等給付費などの増によりまして、2億4,955万2,000円、3.3%の増となっております。

一方で、公債費につきましては、市債残高の減に合わせて償還額のほうも減少してきておりますことから、5,733万7,000円、2.2%の減となっております。

次に、消費的経費でございますが、物件費につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種事業における各委託料や会場使用料、ふるさと納税関連業務委託料の増などによりまして、8億5,042万5,000円、19.7%の増となっております。

また、補助費等につきましても、新型コロナウイルスワクチン接種事業における医師等の謝礼や、住民税非課税世帯等の臨時特別給付金を計上しましたことから、3億8,671万1,000円、15%の増となっております。

次に、投資的経費でございます。普通建設事業費につきましては、国の補助金を活用しました水城小学校の改築をはじめ小学校施設の改修事業や道路改良事業など補助事業の大幅増や、環境美化センターの設備更新など単独事業においても増となっております。20億2,736万5,000円、136%の増となっております。

最後でございます。その他のところになりますが、繰出金につきましては、各特別会計の事業費の影響によりまして、5,352万2,000円、2.0%の増、投資及び出資金・貸付金につきましては、中小企業融資資金預託金の減などによりまして、3,575万9,000円、15.3%の減となっております。

なお、これ以降、7ページから19ページまでは、楠田市政2期目の公約に基づきまして、その初年度としてスタートダッシュを図るべく、太宰府市まちづくりビジョンの4つの構想と戦略を基に組み立てた、コロナ禍を乗り越え、積極的投資を行う重点予算について掲載をしておりますが、先ほど施政方針で市長自ら詳しく述べられましたので、ご参照いただければと思います。

引き続きになりますが、議案第27号「令和4年度太宰府市一般会計補正予算（第1号）」につきまして、お手元にお配りしております補正予算の概要に沿って説明をさせていただきます。

3ページをお開きください。

今回の補正予算は、令和4年度当初予算に計上しております水城小学校の改築事業の一部、また水城西小学校の給食室及び教室4号棟外部の大規模改造事業につきまして、国の令和3年

度補正予算第1号にて採択をされましたことから、より有利な補助金、地方債を活用できることとなったため、令和4年度予算から減額するものでございます。

また、あわせまして、コロナ克服・新時代開拓のための経済対策におきまして示された保育士や学童支援員などの処遇改善施策につきまして、本市が取り組む上で令和4年度に必要となる費用、あと県道筑紫野太宰府線の太宰府農協前信号交差点付近で接続する市道鶴田・岩屋線の道路改良に要する費用などを計上させていただいております。

以上、簡単ではございますが、私のほうからの説明とさせていただきます。

よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第3 議案第21号 令和4年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

○委員長（陶山良尚委員） 次に、日程第3、議案第21号「令和4年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） 議案第21号「令和4年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書につきましては、219ページから259ページでございます。

予算書の219ページをお願いいたします。予算書は219ページでございます。

歳入歳出予算総額は72億2,885万円となりまして、前年度当初予算と比較いたしますと6,745万2,000円、率にいたしますと0.9%の減となっております。

それでは、歳入歳出予算事項別明細書で概要説明させていただきます。

予算書の224ページ、225ページをお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

1 款国民健康保険税につきましては、被保険者の減少や令和4年度から国の制度となります未就学児の均等割軽減による減収分を見込んだ上で、現行税率で試算いたしております。前年度比6,617万円、率にいたしますと4.6%減の13億7,572万1,000円を計上しております。

3 款県支出金につきましては、県繰入金の増などによりまして、前年度比1,573万2,000円、率にいたしますと0.3%増の51億1,774万円を計上しております。

5 款繰入金につきましては、保険基盤安定制度繰入金や職員給与費等繰入金、財政安定化支援事業繰入金、令和4年度から国の制度となる未就学児の均等割軽減に係る保険税繰入金などがございますが、前年度比1,861万5,000円、率にいたしますと2.7%減の6億6,917万1,000円を計上しております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。

歳出の約7割を占めております2 款保険給付費につきましては、被保険者1人当たりの医療

費は増加傾向にあるものの、被保険者数の減少などから、前年度比245万円、率にいたしますとほぼ横ばいですが、0.048%減の50億5,391万5,000円を計上しております。

3款国民健康保険事業費納付金につきましては、県から提示されました額といたしまして、前年度比7,293万円、率にいたしまして3.8%減の18億5,841万8,000円を計上しております。

5款保健事業費につきましては、特定健診に要する費用のほか、医療費適正化に関する費用など、前年度比104万9,000円、率にいたしますと1.0%増の1億655万9,000円を計上しております。

説明は以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 議案第22号 令和4年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長（陶山良尚委員） 次に、日程第4、議案第22号「令和4年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） 議案第22号「令和4年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書につきましては、令和4年度予算書の261ページから276ページでございます。

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方がそれまでの健康保険に代わって加入する医療保険制度で、都道府県単位で全市町村が加入する広域連合が運営を行っております。

予算書の261ページをお願いいたします。

初めに、歳入歳出予算総額は13億9,543万1,000円となりまして、前年度当初予算と比較いたしますと7,494万9,000円、率にいたしますと5.7%増となっております。

それでは、歳入歳出予算事項別明細書で概要説明させていただきます。

予算書の264ページ、265ページをお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

1款保険料につきましては、前年度比5,114万9,000円、率にいたしますと4.7%増の11億4,151万8,000円を計上しております。

3款繰入金につきましては、当該特別会計の事務費、広域連合の事務費負担金及び被保険者に適用されます保険料軽減額を保険基盤安定制度繰入金といたしまして一般会計から繰り入れるものでございまして、前年度比2,006万2,000円、率にいたしますと8.7%増の2億5,016万7,000円を計上しております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。

歳出のほとんどを占めております1款総務費につきましては、被保険者数の増加に伴う広域連合負担金の増額などによりまして、前年度比7,494万8,000円、率にいたしますと5.7%増の



13億9,133万円を計上しております。

説明は以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第5 議案第23号 令和4年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長（陶山良尚委員） 次に、日程第5、議案第23号「令和4年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（田中 縁） それでは、議案第23号「令和4年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書は277ページから344ページまででございます。

介護保険制度は、40歳以上の人が被保険者となり、介護保険料を納め、介護や支援が必要となったときに介護サービスが利用できる支え合いの制度でございます。また、地域支援事業においては、介護予防のための運動教室などをはじめ地域包括支援センターによる高齢者の暮らしに関する相談や支援などを行っております。

それでは、予算書の277ページをお開きください。

初めに、保険事業勘定の歳入歳出予算総額でございますが、59億4,939万6,000円で、前年度当初予算と比較しまして2億2,560万円、率にしますと3.9%の増となっております。

また、介護サービス事業勘定の歳入歳出予算総額は6,416万6,000円で、前年度当初予算と比較しまして137万9,000円、率にしますと2.1%の減となっております。

次に、282ページをお願いいたします。

第3表債務負担行為でございますが、令和4年度から令和5年度にかけて次期、次の計画の策定を行う必要がありますことから、介護保険事業計画等策定委託料を債務負担行為として計上させていただいております。

次に、歳入歳出予算を事項別明細書で概要説明させていただきます。

283ページからになります。

まず、保険事業勘定の予算でございます。

歳入の主なものについてご説明申し上げます。

1款保険料につきましては、65歳以上の第1号被保険者保険料でございますが、前年度比708万3,000円、率にしますと0.5%増の13億3,738万1,000円を計上しております。

3款国庫支出金でございますが、前年度比5,813万9,000円、率にしますと4.9%増の12億4,898万5,000円を計上しております。

4款支払基金交付金につきましては、40歳から64歳までの第2号被保険者保険料からの介護給付費交付金が主なものでございまして、前年度比6,226万7,000円、率にしますと4.3%増の

15億1,599万8,000円を計上しております。

続いて、7款繰入金につきましては、前年度比7,222万5,000円、率にしますと7.7%増の10億788万円を計上しております。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。

284ページ、285ページになります。

1款総務費につきましては、職員給与費及び介護保険システム電算委託料などの予算でございまして、前年度比239万円、率にしますと1.0%減の2億2,827万1,000円を計上しております。

2款保険給付費は、歳出全体の約90%を占めており、居宅介護サービス給付費及び地域密着型介護サービス給付費などの増を見込み、前年度比2億3,191万8,000円、率にいたしますと4.5%増の54億1,017万5,000円を計上しております。

3款地域支援事業費は、前年度比335万5,000円、率にしますと1.1%減の2億9,792万4,000円を計上しております。

続きまして、333ページをお願いいたします。

333ページ、介護サービス事業勘定の予算になります。

歳入の主なものといたしまして、1款サービス収入につきまして、介護予防サービス計画費収入といたしまして、前年度比7万円、率にしますと0.2%増の4,055万円を計上しております。

次のページ、334、335ページをお願いいたします。

歳出の主なものとしましては、1款総務費、ケアマネジャーの人件費などでございまして、前年度比137万9,000円、率にしますと2.1%減の6,406万5,000円を計上しております。

説明は以上でございます。

よろしくご審査をお願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議案第24号 令和4年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

○委員長（陶山良尚委員） 次に、日程第6、議案第24号「令和4年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） 議案第24号「令和4年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書につきましては、令和4年度予算書の345ページから355ページでございます。

予算書の345ページをお願いいたします。

初めに、歳入歳出予算総額は35万2,000円となり、前年度当初予算と比較しますと4,000円、

率にしまして約1.1%の増となっております。

それでは、歳入歳出予算事項別明細書で概要説明をさせていただきます。

予算書の348、349ページをお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

1 款財産収入につきましては、基金の利子でございますが、前年度比4,000円増の7万2,000円を計上しております。

2 款繰入金につきましては、弁護士委託料等に係る一般会計からの繰入金でございますが、前年度比同額の27万1,000円を計上しております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。

1 款総務費につきましては、こちらも前年度比同額の27万1,000円を計上しており、2 款基金積立金につきましては、前年度比4,000円増の8万1,000円を計上しております。

なお、貸付金の償還向上につきましては、今後も個別の現状把握に努め、精力的に家庭訪問を行うなど、償還の促進と県との連絡調整や契約弁護士と相談を行いながら滞納者対策を図ってまいります。

説明は以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第7 議案第25号 令和4年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（陶山良尚委員） 次に、日程第7、議案第25号「令和4年度太宰府市水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

都市整備部長。

○都市整備部長（高原 清） 議案第25号「令和4年度太宰府市水道事業会計予算について」、その概要をご説明申し上げます。

水道事業の予算書は、この水色の表紙のこちらの予算書となります。

まず、1ページをお願いいたします。

令和4年度におきましては、給水戸数2万6,662戸、年間総給水量560万7,495<sup>m</sup>、1日平均給水量1万5,363<sup>m</sup>を予定しております。

第3条の収益的収入及び支出におきましては、収入を14億2,939万5,000円、支出を13億1,883万5,000円としております。

第4条の資本的収入及び支出におきましては、収入を4億8,799万4,000円、支出を15億4,858万7,000円としております。

次に、具体的な収支事項をご説明いたします。

4ページをお願いいたします。

収益的収入の1款1項1目の給水収益につきましては、新型コロナウイルス感染症対策のた

めの在宅時間の減少等の影響で使用水量の減少傾向が続いていることから、前年度と比べ2.8%減の12億1,177万6,000円を予定しております。

次に、2項2目の加入負担金につきましては、マンション建設の影響等で前年度に比べ29.7%増の4,603万5,000円を予定しております。

次に、3目の長期前受金戻入でございますが、前年度と比べ1.4%減の1億4,462万5,000円を計上しております。

次に、5ページをお願いいたします。

収益的支出の1款1項1目の原水及び浄水費につきましては、前年度並みの6億7,758万4,000円としております。

2目の配水及び給水費の減につきましては、量水器の取替えに伴う委託料及び修繕費の減などが主な要因となっております。

6ページをお願いいたします。

3目業務費につきましては、ほぼ前年度並みの2,900万2,000円としております。

4目総係費につきましては、人件費の減を主な要因といたしまして、227万円の減額となっております。

7ページをお願いいたします。

5目の減価償却費は、松川浄水場更新工事の影響で資産が除却されることに伴い減少しまして、3億6,511万5,000円となっております。

6目の資産減耗費につきましては、松川浄水場更新工事の影響で資産を除却するため増加することになり、7,502万2,000円となっております。

8ページをお願いいたします。

2項1目の支払利息及び企業債取扱諸費につきまして、249万円減少しております。こちらは、支払い利息がピークを過ぎたことによるものであります。

また、2項3目の消費税及び地方消費税につきましても885万8,000円減少しておりますが、こちらは、松川浄水場更新工事等で支出が増加することによるものでございます。

次に、9ページの資本的収入をご覧ください。

1款1項1目の上水道事業債でございますが、松川浄水場更新工事に伴いまして4億6,000万円を計上しております。

2項1目の出資金につきましては、国の繰り出し基準に基づき一般会計から繰入れを行うもので、対象事業の減少によりまして460万円の減となっております。

3項1目の工事負担金につきましては、対象事業の減少により570万1,000円の減となっております。

次に、10ページをお願いいたします。

資本的支出の1款1項2目浄水施設費でございますが、松川浄水場更新工事によりまして10億8万3,000円の増となっております。

3目の配水施設費は、前年度並みの3億7,089万4,000円となっております。

4目の小規模生活ダム事業費につきましては、福岡県が実施いたします県営北谷ダムの堰堤改良工事に対しまして、その3%を負担するものでございまして、1,414万1,000円となっております。

5目の貯水施設費につきましては、松川及び大佐野ダム内に設置しました橋梁等につきまして点検を行うものでございます。

以下、11ページ以降につきましては、財務諸表等を添付いたしております。

説明は以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第8 議案第26号 令和4年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（陶山良尚委員） 次に、日程第8、議案第26号「令和4年度太宰府市下水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

都市整備部長。

○都市整備部長（高原 清） 議案第26号「令和4年度太宰府市下水道事業会計予算について」、その概要をご説明いたします。

下水道事業の予算書は、こちらの黄色の表紙のこちらになります。

1ページをお願いいたします。

第2条になりますが、業務の予定量を記載をしております。令和4年度におきましては、排水戸数3万1,163戸、年間総排水量739万6,360m<sup>3</sup>、1日平均排水量2万264m<sup>3</sup>を予定しております。

第3条の収益的収入及び支出におきましては、収入を17億8,167万3,000円、支出を14億5,069万2,000円としております。

第4条の資本的収入及び支出におきましては、収入を3億546万円、支出を9億4,541万7,000円としております。

次に、具体的な収支事項をご説明いたします。

4ページをお開きください。

まず、収益的収入の1款1項1目の下水道使用料、こちらにつきましては、使用料改定の影響で7.8%減の11億928万8,000円としております。

2目の他会計負担金につきましては、国の繰り出し基準に基づく一般会計からの繰入金でございます。

次に、2項3目の長期前受金戻入につきましては、今年度は2億8,410万7,000円を計上しております。

5ページをお願いいたします。

収益的支出でございます。まず、1款1項1目の管きよ費は、前年度並みの3,166万4,000円としております。

2目の流域下水道維持管理費でございますが、下水の有収水量が減少することで下水処理費用が減収することから、1.2%減の4億3,151万1,000円を計上いたしております。

4目の総係費では、人件費の減などによりまして298万1,000円の減となっております。

続きまして、7ページの5目減価償却費になります。こちらにつきましては、マンホール蓋改良工事の影響によりまして資産が除却されることに伴い439万8,000円の減少となり、7億1,581万9,000円となっております。

6目の資産減耗費は、マンホール蓋改良工事の実施に伴い固定資産除却費の増などによりまして、2,200万円の増となっております。

2項の営業外費用につきましては、1目の支払利息及び企業債取扱諸費は、前年度と比較いたしまして1,514万9,000円の減となっており、今後も減少していく見込みでございます。

8ページをお願いいたします。

資本的収入につきましては、総額3億546万円となり、前年度に比べまして6,920万9,000円の増となっております。これは、建設改良費の増による企業債及び国庫補助金収入の増などが主な要因となっております。

次に、9ページをご覧ください。

資本的支出の1款1項1目の公共下水道整備費につきましては、長寿命化を目的としたカメラ調査業務委託を実施するほか、老朽化したマンホールの蓋の更新などを予定しております。

以下、11ページ以降につきましては、財務諸表等を添付いたしております。

説明は以上となります。

○委員長（陶山良尚委員） 以上で説明は終わりました。

質疑については、3月15日及び3月16日の予算特別委員会で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 本日はこれもちまして散会します。

散会 午後0時13分

~~~~~ ○ ~~~~~